

男女共同参画委員会企画 第15回女性技術者ネットワーク開催報告

化学工学会男女共同参画委員会では、自然科学系女性技術者・研究者の抱えているさまざまな課題について情報交換を行い、女性技術者・研究者のネットワークを作ることを目的に、「女性技術者ネットワーク」という会合を2012年から継続的に開催しております。第15回目の会合は、6月14日（金）18:00から林野会館（東京）で行われ、SDGsをテーマとして、日本化学工業協会 SDGs室 五所亜紀子様、住友化学株式会社 CSR推進部 福田加奈子様、三井化学株式会社 人事部ダイバーシティ推進室 安井直子様にご講演いただきました。五所様からは、日本化学工業協会（日化協）のSDGsに関する取組みとして、会員企業39社から構成されるSDGs部会での活動内容を中心に、レスポンシブル・ケア、環境、健康、安全への取組みとの連携、団体との連携として化学工学会のSDGs検討委員会での活動などをご紹介いただきました。策定したビジョンや事例集などが日化協ホームページに公開されていますので、ぜひご参照ください。最後に、ご自身の博士号取得後のキャリアと若手技術者・研究者に向けてのメッセージをお話いただきました。福田様は、現在理事としてCSR推進部のマネジメントを行っておられますが、ご自身のキャリア形成では、海外赴任を含めて丁寧なコミュニケーションを重視した独自の路線で成果を上げてこられたことをお話いただきました。次に、住友化学グループのサステナビリティ推進に関する取組みに関連して、SDGsの社内浸透においてはトップコミットメント（T）が非常に重要であり、事業を通じたソリューション（S）の開発や普及の推進、社員全員参加（P）のサステナブルツリー・プロジェクトの活動が三位一体となることでかなり浸透してきたことをご紹介いただきました。



五所 亜紀子様



福田 加奈子様

安井様からは、現在化学工学会のSDGs検討委員会で検討中の「未来のあるべき化学工場」の実現に向けた課題の一つである「工場働く女性に関わる課題」についてお話いただきました。三井化学グループではDiversity（多様性）とInclusion（包含・協働）推進の一環として、25年前から女性社員のプラントへの配属を積極的に行っており、その中で見えてきた4つのハードル（設備、業務内容、働き方、精神面）と解決への取組みについてご紹介いただきました。女性の三交代は無理との意見が多い中、導入してみると男女差はほとんどなく、適正があれば継続できること、ハードルの解決に取り組むことは、男性や障害者などにも働きやすい環境を提供することになる点を踏まえ、スマート工場の構築、女性の多い医

療現場の働き方を参考にすることを提案されていました。ご講演の後には、講師と参加者との交流会が行われ、講師への質疑応答や、企業内の女性活躍の取組みや女性の働き方等についての情報交換が活発に行われました。



安井 直子様

本会合には、10社以上の企業から女性技術者・研究者に多数ご参加いただき、総数30名以上にて行われました。遠くは富山県からお越しいただき、女性技術者・研究者のネットワーク作りへの要望が高いことが伺われました。

尚、次回は、来年度に化学工学会事務局（東京）にて開催致します。メルマガ等により開催内容をお知らせ致しますので、ぜひご参加願います。

（文責 男女共同参画委員会）